

着任の挨拶

副センター長 成瀬雅也

4月1日付で副センター長を拝命しました成瀬雅也（なるせまさや）です。今回、コロナ禍の下でビザの発給が大幅に遅れ、入国に際しては青島で3週間の隔離生活を必要としたため、実際に北京に到着したのは6月に入ってからでした。まだ、右も左も分からない状態で、現在生活の立ち上げと業務の把握に四苦八苦してい



副センター長 成瀬雅也

るところです。

これまで、文部科学省をはじめとした政府系機関や大学等で、主として国際交流に関わる業務に従事してきました。中国との関わりはあまりなく、今回の赴任が決定してから慌てて中国語の勉強を始めたくらいですが、九州の2つの大学で国際担当課長を務めていた時に、留学生の半数近くを占める中国出身の留学生が、異国である日本でそれぞれの目標を持って奮闘する姿を通して、日々成長していく中国という国のエネルギーを感じていました。当時、海外同窓会開催のため訪れた北京で立ち寄った JSPS 北京センターに縁あって勤務することになり、大きな喜びを感じています。

当面、北京センターは日本人職員1名、現地職員2名の最小限の体制になりますが、これまで北京センターが培ってきた JSPS 中国同窓会、現地大学・対応機関や日本の現地機関などとの関係を絶やすことなく、昨年以来コロナにより中断を余儀なくされている業務やイベントの再開に努めるとともに、日中の研究者支援や国際交流といったセンター本来の使命を着実に果たしていきたいと思ます

国内外の情勢が落ち着いた頃には、中国思想と世界遺産、『史記』や『三国志』で親しんだ中国史の世界を感じられる旅に出られる日が来ることを信じて、頑張っていきたいと思ますので、今後ともよろしく願いいたします。